

医療への患者参加に関するアンケート結果報告

～ 薬をどのように管理していますか？ ～

はじめに

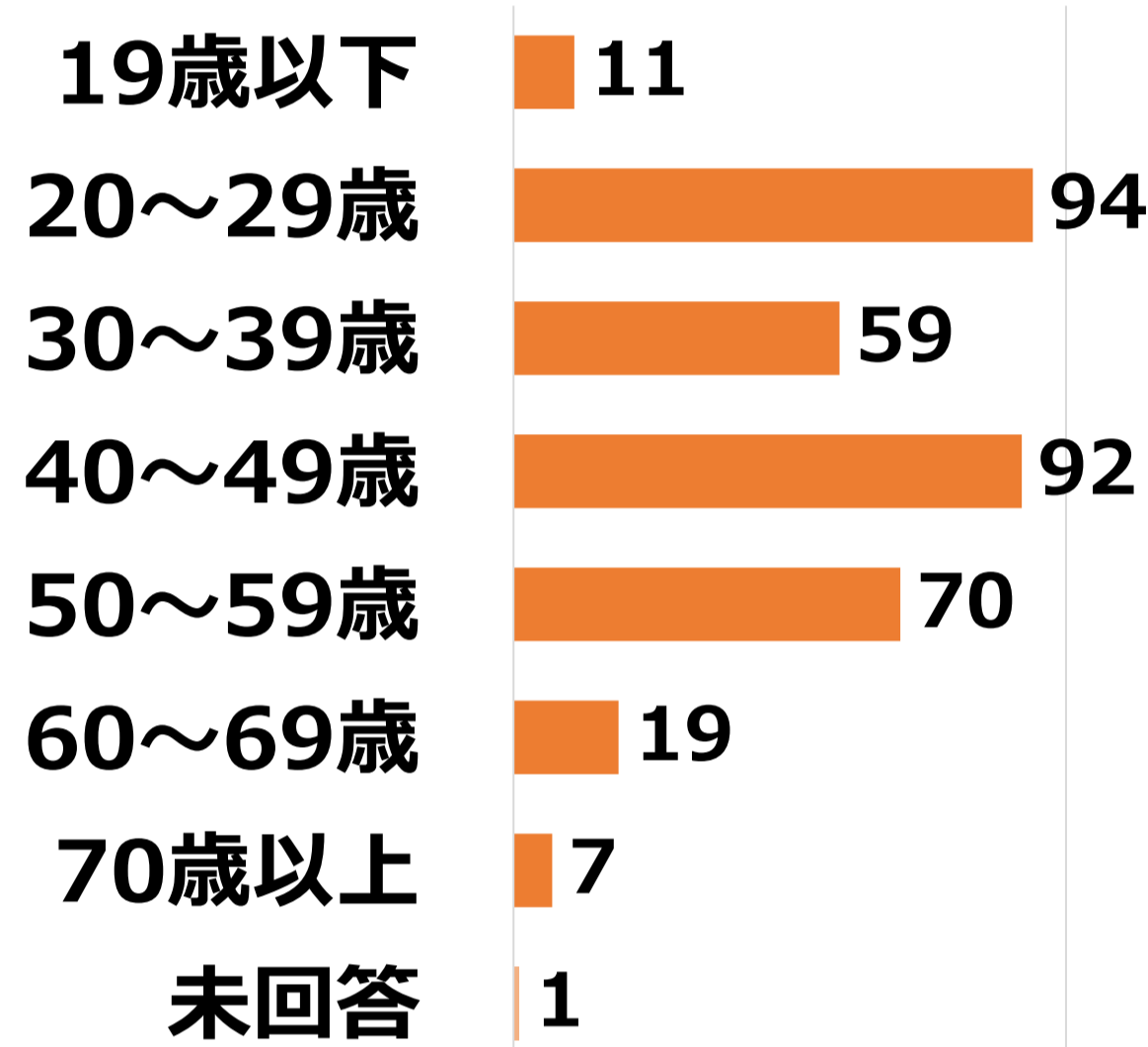
当院では患者さんと医療者が協力しながら、一緒に医療の質と安全をつくりあげていくことが重要だと考えています。

今回、「投薬の安全」をより高めるため、患者さんや市民の皆様が病院を受診する場面で、薬の情報をどのように伝えているか、お薬手帳をどのように使われているか、お伺いしました。

調査方法

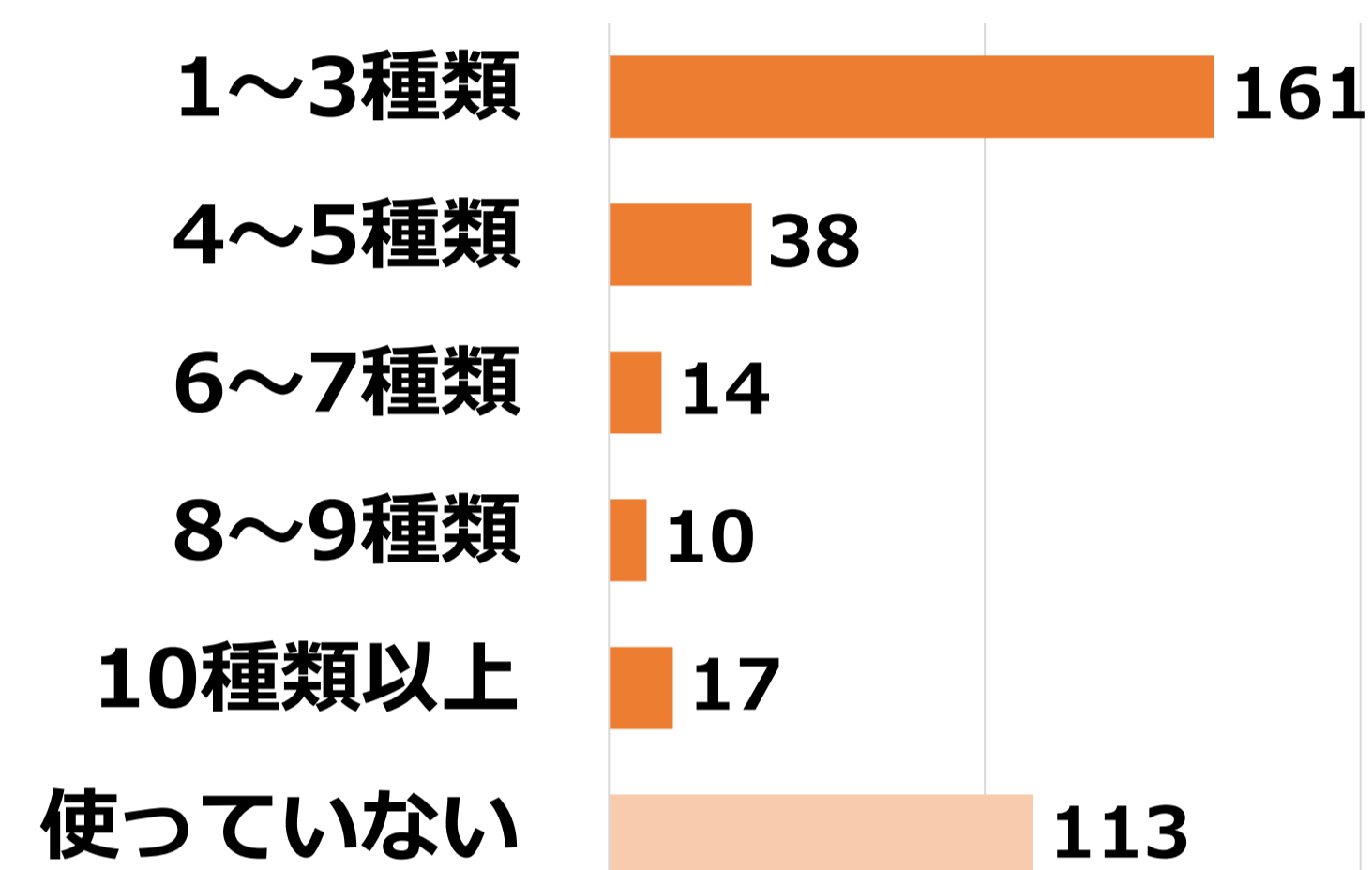
- 実施期間：2022年8月4日～8月31日
- 質問数：13問
- 回答方法：紙面(院内) または Googleフォーム
- 周知方法：院内掲示、ホームページ、SNSで周知

回答者の年代



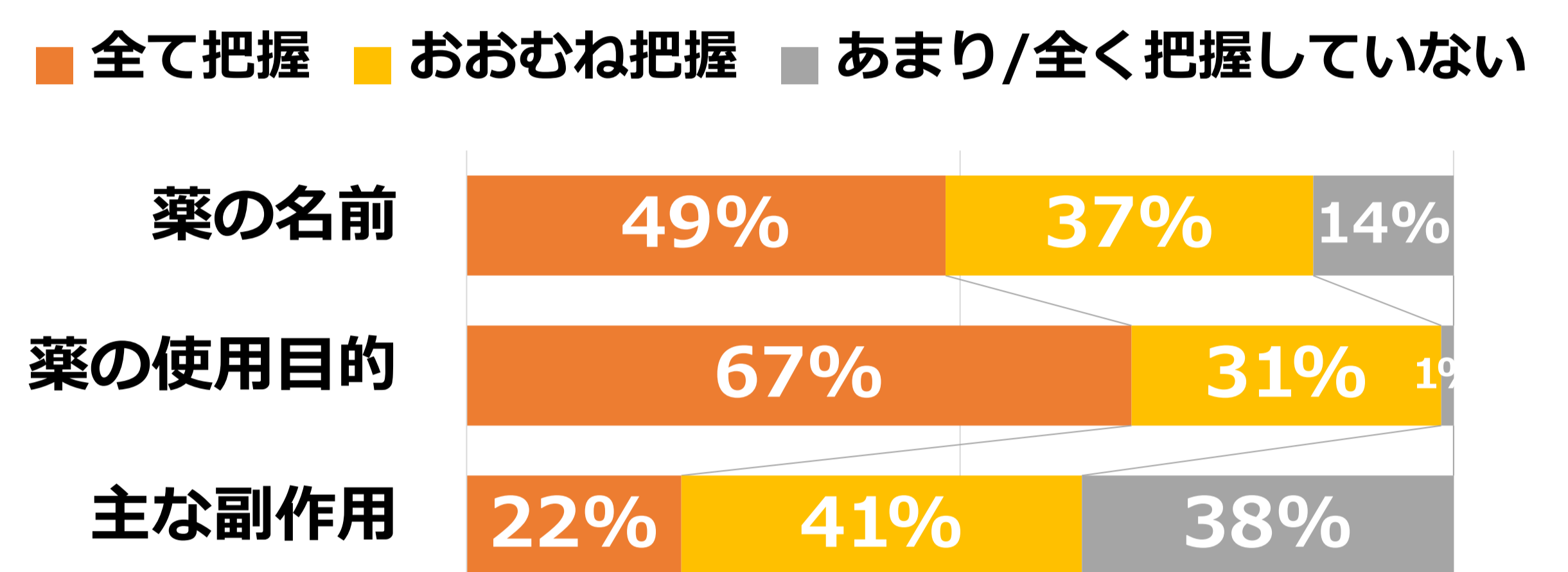
353名の方にご回答頂きました。

現在使用している薬の数は？



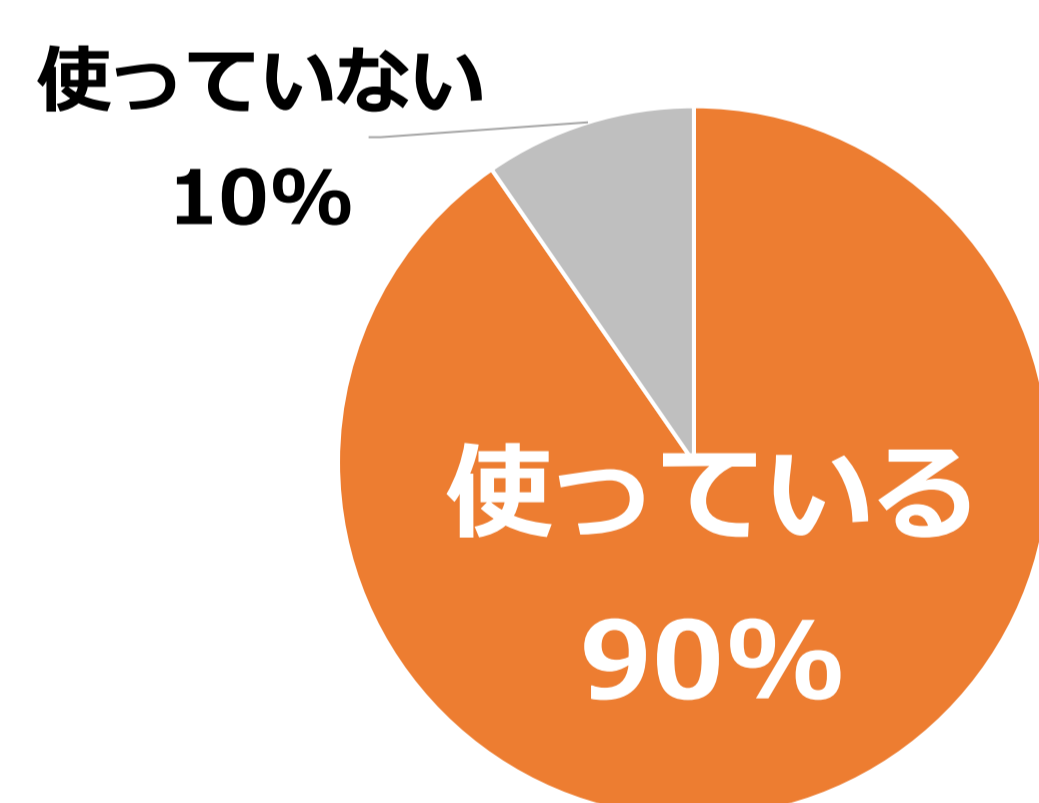
1～3種類使用されている方が多かったです。10種類以上使用されている方もいました。

現在使用中の薬をどのくらい把握？



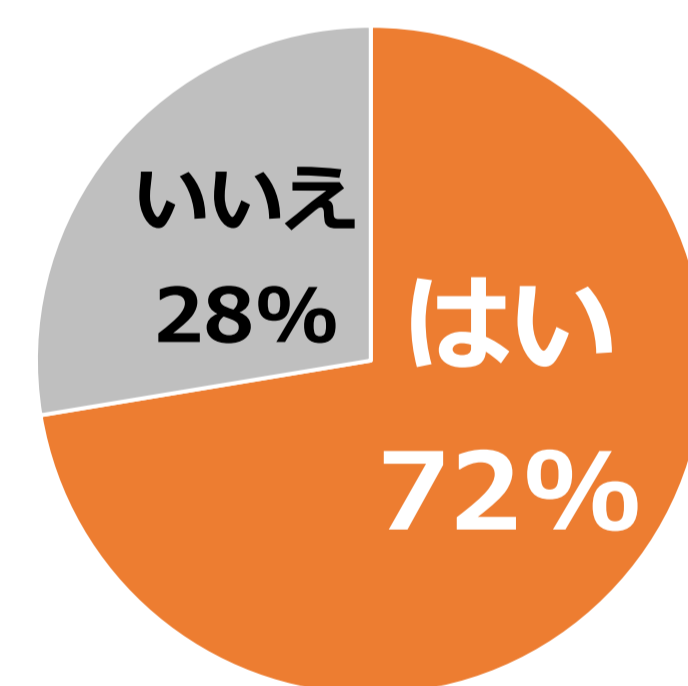
現在使用している薬の名前は、5割の方がすべて、4割弱の方がおおむね把握していました。

お薬手帳は使っている？



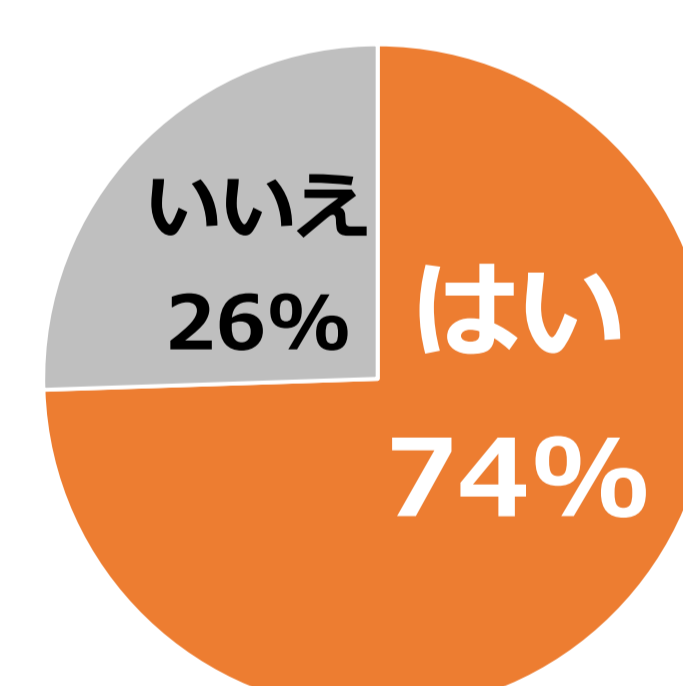
お薬手帳は9割の方が使用していました。

全ての使用薬が把握できるように管理している？

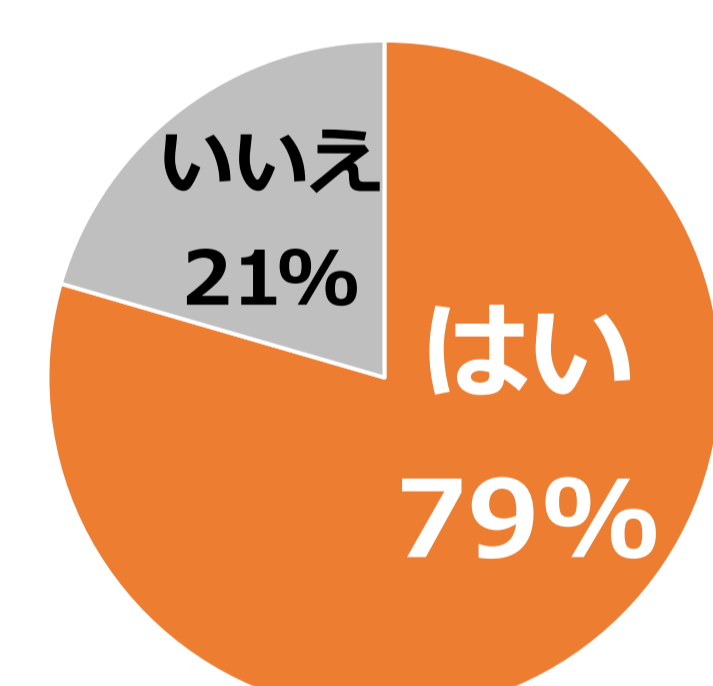


全てのお薬が分かるようにお薬手帳を管理されている方は、全体の7割でした。また、病院や薬局へいつも持っていく方は8割弱でした。

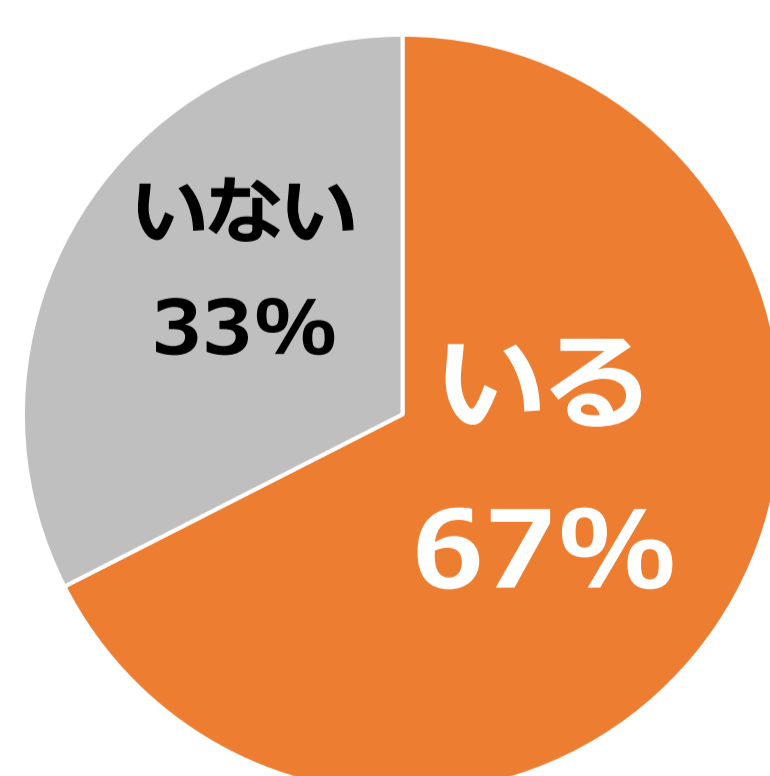
病院へいつもお薬手帳を持っていく？



薬局へいつもお薬手帳を持っていく？

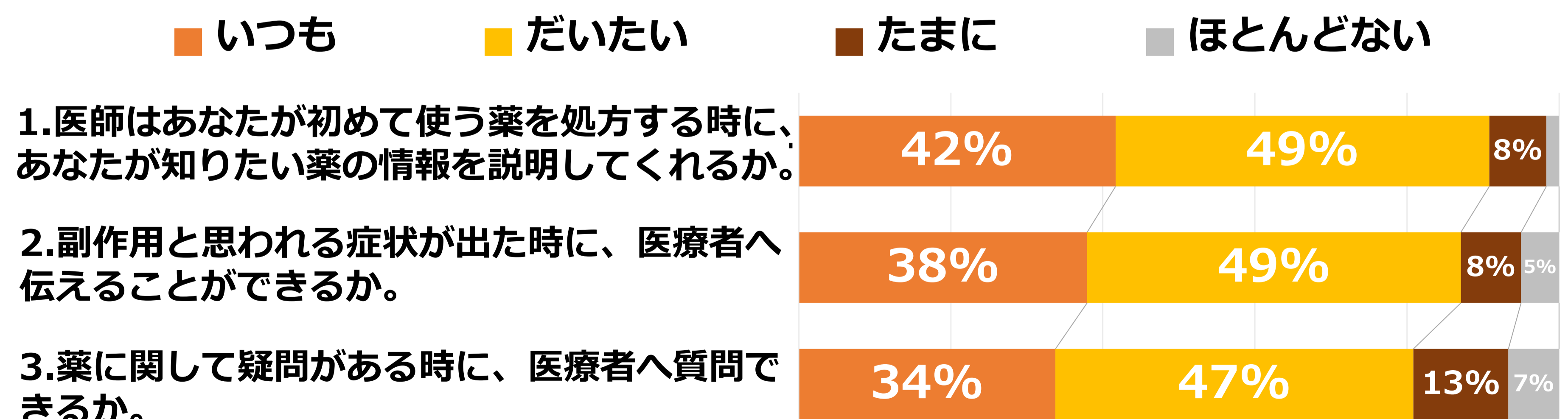


薬について心配なことを気軽に相談できる医療者がいる？



気軽に相談できる医療者がいる方は7割弱でした。

医療者へ質問したり、伝えたりできますか？



副作用の症状や薬の疑問点は、8割以上の方が相談できると回答していました。

今回の調査で、ご自身が使っている薬が全て分かるように管理されている方は7割以上でしたが、管理できていない方も一定数いらっしゃる事が分かりました。

医療機関を受診する際に、今使っている薬を分かるようにしておくことが、適切な医療を受けるためにとっても大事になります。今使っている薬が分かるように、お薬手帳等を活用していきましょう。